



中之島フェスティバルタワー JSCA 賞作品賞 吉田 聡

建築概要

建築主	株式会社 朝日新聞社
建設地	大阪市北区中之島2丁目
用途	事務所、劇場、店舗等
敷地面積	8,150.09㎡
建築面積	5,725.26㎡
延床面積	145,602.26㎡
高さ	198.96m
階数	地上39階/地下3階
構造	中間層免震構造 S造/SRC造/RC造
設計監理	株式会社 日建設計
施工者	株式会社 竹中工務店
竣工	2012年10月

構造概要

本建物は、大阪の文化・芸術の発信拠点として長らく親しまれ、また世界の音楽家から称賛されたフェスティバルホールを建替え、これに朝日新聞社大阪本社、テナントオフィス等を組み合わせて計画された超高層複合施設である。

高い耐震・環境性能、最新の演目に対応し音響特性に優れた2700席規模のホール、そして地域特性を意識したセンターコア型オフィスとすることが建築主の要望であり、それぞれに十分な面積を確保して実現するため、各用途を縦に積むことを提案した。音響特性に優れたホールと無柱空間のオフィスという、構造計画上は相反する建築的要求を合理的かつ大胆に切り替えて実現するため、以下の2つを構造計画上の核として計画している。

- ・高層階の荷重を外周部に集約し、ホールの大空間を実現する「巨大トラス」
- ・異なる用途・構造形式を柔らかく連結し、地震エネルギーを集中的に吸収する「中間層免震」

これら2つの核により、建築基準法上の極めて稀に発生する地震に対し、各部を短期許容応力度以下とする高い耐震性能を確保しつつ、ホールを含む低層部はSRC造耐震壁主体構造として高い音響性能を実現し、オフィス部はS造耐震・制振ブレース付きラーメン架構として執務空間に柱のないオフィス空間を実現している。

巨大トラスは高層階重量を建物外周に集約することを可能にして、免震構造の性能を最大限に高め、中間層免震は高層階に作用する地震力を小さく抑えて巨大トラスの地震時安全性を高めるなど、2つの核は相互に影響して建物の構造性能を高めることにも寄与している。

道路を挟んだ反対側の朝日新聞ビル（現在解体中）の外観イメージを継承するコーナー部の円弧形状や、レンガ積みの外装に代表される特徴的な外観、13階のスカイロビーにあって開放感を創出しつつ荒々しく露出するメガトラス、そして優れた耐震・環境性能により、本建物は超高層ビルが立ち並ぶ中之島地区においてもランドマークとなる建物となっている。

